

湿地・沿岸域研究委員会委員各位

第13回日本水環境学会シンポジウム開催のご案内

前略 今夏の水環境学会シンポジウムでは、本部と湿地・沿岸域研究委員会が協力して沿岸と湿地に関する講演会を行うこととなりました。今回は口頭発表に加えて、琵琶湖の自然再生現場を巡る見学会も企画しております。下記に要領を示しますので、奮ってのご参加をお待ちしております。また当研究委員会メンバーで無い方でも、シンポジウム・見学会の参加を歓迎しております。委員会を代表して、よろしく願い申し上げます。

草々

湿地・沿岸域研究委員会委員長 木幡 邦男(国環研)
同幹事長 玉置 仁(石巻専修大学)

記

日時: 2010年9月9日(木) 9:00~12:20 研究発表会

12:30~18:00(予定) 見学会 ~見て聞いて学ぶ琵琶湖の保全・再生の今~

テーマ: 琵琶湖・淀川流域再生の最前線

会場: 京都大学 吉田キャンパス(〒606-8501 京都市左京区吉田本町)

第13回水環境学会シンポジウム

← 検索サイトで「第13回水環境学会シンポジウム」と入力！

Google 検索

I'm Feeling Lucky

プログラム:

- 9:00~9:05 趣旨説明 西嶋渉(広島大)
- 9:05~10:05 西野麻知子(滋賀県・琵琶湖環科研セ)「生物多様性からみた琵琶湖・淀川水系」
- 10:05~10:40 守安邦弘(国交省・琵琶湖河川)「琵琶湖とたんぼを結ぶ取組みについて-針江浜うおじまプロジェクト-」
- 10:40~10:50 休憩
- 10:50~11:25 須戸幹(滋賀県大・環境科学)「琵琶湖と農業と農薬 環境こだわり農業は琵琶湖への農薬流出を減らせるか」
- 11:25~12:00 山川悟(針江生水の郷委員会)「水のつながりは人のつながりー針江生水の郷委員会の取り組みー」
- 12:00~12:20 田中周平(京都大院・地球環境)「エクスカージョンの説明」

見学会: 会場発(12:30)⇒船上からの琵琶湖および自然再生現場を見学(80km クルージングします。)⇒里山見学(現地のみなさまにご案内いただきます。)⇒JR 新旭駅解散(17:10頃)⇒新快速にて京都駅(17:57)

「見て聞いて学ぶ琵琶湖の保全・再生の今」をテーマに、琵琶湖の自然再生などに関する見学会を実施いたします。琵琶湖の自然再生現場を湖から見学し、また針江の湧水を利用した里山の生活を午前のセッションの演者の方々にご案内いただく予定です。

参加費(バス代含む)は、¥2,000 円(事前予約)、¥2,500 円(当日受付)となります。

参加希望者は、9月2日(木)までに下記宛にご連絡ください。お申込みいただいた方には、随時関連情報をメールにてお送りします。尚、シンポジウム会場において当日参加受付もいたしますが、先着順、定員になり締め切らせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

見学会申し込み・問合せ先: 京都大学 地球環境学堂 田中周平

Tel. 075-753-5171, E-mail: t-shuhei@eden.env.kyoto-u.ac.jp(メール送付の際には@を半角としてください)